

なつしら！

図書館でじょうずに
調べよう！

なつしら1：なにを知りたいか、調べたいか、よく考える

★できるだけくわしく、テーマを
考えるのがポイント！

まず、なにを調べるかを
決めないとね！



AI のことも気になる！

昆虫も好きだし

大雨や災害

マイクロプラスチック
も気になるなあ

なつしら2：最初は、^{さいしょ}辞書や^{じしょ}事典や^{じてん}図鑑を^{ずかん}みる



★国語辞典や百科事典、いろんな図鑑を使おう。

本の最初の「目次(もくじ)」、さいごの「索引(さくいん)」で、気になることばを探そう。

図書館のけんさく用パソコンでいきなり調べると、いろいろなものが出すぎて、ぎゃくに、
ぜんぜん見つからない!?となることも。とにかくまずは、辞典や図鑑から！

なつしら3：ひとつの場所だけでなく、あちこちさがす

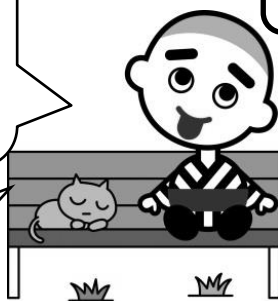
★「知りたいのはこんなこと！」ときまったら、図書館の中をさがしてみよう。

図書館の本は、0～9の数字を使った、「分類記号(ぶんるいきごう)」という番号が背(せ)についていて、同じ数字は、同じジャンルの本なんだよ。

テーマについて、イメージをふくらませよう。

「地震(じしん)」のイメージは
「災害(さいがい)」
「地球の活動」
「防災(ぼうさい)」
かな？

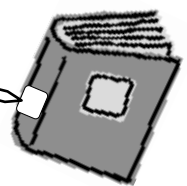
おとなの本を見てもいいね



450

分類記号。
最初の2けた
から見てね

ここが「背」



「地球」「災害」のことは、「45」
「防災」は「36」
の、場所にあるよ！
探してみてね！

なつしら4：あつめた本を、ぜんぶみる

★本が集まったら、中を見るよ。中を見ないと、なにもわからないからね。

パラパラとめくりながら、ここだ！と思ったところを、しっかり読んでいこう。

本が出た年もチェック。古い本は、今とちがっているところがあったりするから、
調べるときはよく考えて！

なつしら5：図書館じゃないところで、調べよう



★電車や、科学や、植物や、大きいものも小さいものも、いろんな、たくさんの博物館があるよ。そういうところや、現場に行ってみよう。本物やパンフレットなど、図書館にないものがあったり、くわしい人がいたりするよ。自分の足で調べにいこう！

なつしら 6：^{ちいき}地域のこと、四日市のことを調べたい！

★じぶんのすんでいる場所のことを調べたらいいんだよ。電柱はなん本ある？空き家はなんげんある？公園はどこにある？とか、ね！

★ばんこ焼や、四日市公害などのことを調べるときは、それぞれの施設があるし、インターネット上でもくわしく紹介しているから、見てみよう。

図書館の「地域資料室(ちいきしりょうしつ)」の本は、おとなの本がほとんどで、借りられるものも少ないんだ。いろいろ調べてわからないことがあったら、最後にきいてね！



「レッツ！郷土研究」という、図書館のちらしがあるよ
図書館のホームページでも見ることができるよ

なつしら 7：まとめかたは、くふうして！

★絵や写真にコメントをつけていく、棒グラフや円グラフにしてみる、地図にしてみる、などの表現のくふうや、小道具を使う、さわれるようにしてみる、目立つタイトルをつける、文字や色を使い分ける、などの、演出のくふうも考えてみよう。

調べる、まとめるときの注意

- 1、本やインターネット、ほかの人が作った画像や文、AIの文を、丸うつししない。
- 2、本やインターネットの画像や文を少し借りるときは、それを変えないで使う。
使う前に、それがほんとうに正しいかを、本などの、ちがうところでも調べる。
- 3、本やインターネットの画像や文を少し借りるときは、『参考』として、どこから借りたかを、まとめのさいごにかならず書く。
本であれば、『題名』『作者』『出版社』。インターネットであれば、『サイト名』『webページのタイトル』『著者名』『URL』。
(※いいかげんなサイトも多いから、参考にするときはよく考えて！)
- 4、図書館や書店にある、本の写真をとらない。
- 5、お店や施設の様子を写真にとりたいときは、先にかならずお店や施設の人にきいて、その決まりを守る。
- 6、お店や施設の人に話をききたいときは、かならず先に電話をして、いつ行くか約束をしてから行く。